

事業所名

放課後等デイサービス あかね

支援プログラム（参考様式）

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・学習の支援や学校との面談を通して学校やその他の連携施設と繋がり、チームで家族を支えます。 ・コンセプトは「自分にぴったりなのを見つけたら昨日より今日、きっと自分が好きになる」個々の習熟度や特性に合わせて一人一人に合った学び方で力を付けていきます。 ・不登校、発達障害等に寄り添い保護者様との力を共に歩み、繋がりを作りつつ、長い目で、お子さまが自立に繋がる笑顔がふえる形や道と一緒に考えます。 							
支援方針		<p>本人の得意なことを活かしつつ、苦手なこと困っていることに対してどんな風に付き合っていくか工夫していくかを一緒に考えていきます。</p> <p>保護者様も含め、家庭全体が健やかに過ごせるよう一緒に考えていき、必要に応じて地域資源や福祉サービスの導入や繋ぎ作業をさせていただきます。</p> <p>日常の困りごとを自分の言葉で表現し、伝える力を育み、感情のコントロールで出来ることで良好な人間関係を育む力をつけ、自立に繋げていきます。</p> <p>生活のリズムを整え、身のまわりの物を大人と整理して、快適に過ごさず自分で時間の見通しを持ち過ごせる生活力を身につけていきます。</p>							
営業時間		学校開校日	12時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	10時	30分	18時	30分			
支援内容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスキルトレーニング：身だしなみやマナー等、生活上のスキルを習慣化し、自立した生活が実現できるようサポートします。 ・健康管理：自分自身の身体と心と頭の健康度を意識してキャパオーバーにならないようセルフコントロール方法を身につけること、そして自分自身の不調に気づく力を育みます。 ・安全教育：交通安全や防災訓練を通じて、日常の安全意識を高めると共に、活動の機会の中で実践や振り返りを行います。 ・生活リズムの確立：スケジュール管理や睡眠の重要性を学び、ご家族と協力し合いながら規則正しい生活を促します。 ・情緒の安定：自分自身の負の感情に対して切り替えやリラクゼーションの引き出しを増やし、心の健康を維持する力を育みます。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・身体機能向上：身体の可動域や柔軟性を高める運動や筋力を高める動きを取り入れて、自分自身の身体を意識したり高めることで健康な体づくりをサポートします。 ・感覚統合：感覚を刺激する遊びやバランスボール等を使った運動で、バランス感覚と空間認識を図ると共に体幹を整え、姿勢保持力や着座保持力に繋がっていきます。 ・微細活動：手指～上腕を使った工作や目と手の協調運動を鍛える制作活動を取り入れ、全身のバランスを整えていきます。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視知覚認知力の向上：バランスやアナログ教材等を通じて、認知知覚力や短期記憶力、問題解決能力を育むと共に、学習に繋がる土台の力を伸ばし整えていきます。 ・学習支援：不登校期間の長さや個々の学習の置きポイント、学ぶことに対する不安さに合わせて、個々のペースや方法を見つけ、マンツーマンで基礎学力の向上を図っていきます。 ・行動療法：ポジティブな行動支援や構造化環境で、望ましい行動を増やし安心できる環境を提供します。 ・社会的スキルの育成：ソーシャルスキルトレーニングや役割遊びを通じて、友達とのコミュニケーションや協力の仕方を学びます。 ・自己調整スキル：感情の認識とコントロール、タイムマネジメントと伝え、自己調整能力を高めます。 ・問題解決スキル：問題解決のステップを伝え、小集団活動の体験も通じて、多角的な視点から解決方法を学びます。 ・モチベーションの向上：スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで自信をつけたり自分に合った動機づけ方法を見つけてある程度の気持ちの維持ができるようサポートします。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語発達支援：言葉や表現力を増やし、文章の意図理解力やイメージ力を育み、コミュニケーションや学習に必要な基礎的土台作りをサポートします。 ・コミュニケーションスキルの向上：個別支援内でのやり取りや場面を想定した中での練習、小集団活動での実践や振り返りを通して、日常会話のスキルと社会的な適応力を養います。 ・非言語コミュニケーション：ジェスチャーや表情、アイコンタクト、本音と建て前、曖昧な表現や場の雰囲気を読む等の練習や経験を通して、言葉以外のコミュニケーション方法を学びます。 ・読み書き支援：読み書きや算数的推論に対して極端な苦手さが個の中である場合、本人や保護者様と相談した上で、個々に合わせた学習内容や方法で学びを深めつつ、必要に応じて合理的配慮の工夫を探し社会の中で生きやすい形を探します。 ・小集団活動：1回/月開催の小集団活動イベントやその他のイベント企画の中で他者との意見交換や協力の機会を作り、学校や社会に繋がる具体的な練習の体験と自信をサポートします。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング：挨拶や自己紹介、こんなときどうする？、しんどい時のSOSの出し方、回避の仕方等を個別支援内で想定し思考の幅を広げることで他者との関わり方を学びます。 ・役割遊びとロールプレイ：日常生活や社会的な場面を再現する役割遊びやロールプレイを必要に応じて取り入れ、具体的にイメージ出来た上での適切な行動や会話を想定したり振り返りをして学びを深めます。 ・協力活動：制作活動や季節の遊び、グループゲーム活動、自立に向けて必要な家事体験や社会経験、食育調理等を通して、友達との交流を楽しみながらチームワークや自立に必要な知識や経験、協調性を身につけていきます。 ・社会参加活動：地域のイベントやボランティア活動に参加し、社会との繋がりと社会貢献の意識を育みます。 ・エンパシートレーニング：物語や映像、支援者や小集団活動を通じて、共感の機会を作り、他者の気持ちを理解する力を育みます。 ・自己肯定感の育成：成功体験の共有や日常的に他者を褒める他者に褒められる習慣を通じて、自己肯定感を高め、大きな不安なく新しいことにもチャレンジできる人間力を育みます。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者面談を行い、家庭内の様子聞き、保護者様の悩みや不安に寄り添います。 ・必要に応じて支援時間に保護者様の同席をいただき、関わり方や支援のコツを一緒に共有します。 ・不登校等負担や不安が大きい場合は、1回/月以上の面談や相談にて心のケアにも配慮します。 ・公式LINEでいつでも相談可能な形+1回/月の個別相談窓口の提示にて相談可能な環境を提供します。 ・必要に応じて家庭訪問やリモートにて利用児以外のきょうだい児や保護者の相談も応じます。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・本人や保護者の希望に合わせて学校とも連携し、進学、進級、就労に向けたサポートをします。 ・社会体験活動として公民館でのイベントや就労に繋がるボランティア活動等の情報提供をしたり、高校と連携を図り、卒業後の移行に向けてサポートします。 ・自分の強みや希望を理解し、自己決定力を育むと共に、強みを活かす進路や就労に繋がります。 ・金銭管理や家事スキルの活動機会等で、自立した生活を送るための基本的なスキルを育てます。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等、地域の活動に参加する機会や公共施設利用等を通じて地域資源を知る繋がる機会を作ります。 ・学校だけでなく家庭全体に必要な地域資源と繋がるサポートをします。 ・必要に応じて、地域子ども相談センターや他の福祉サービスと連携し、家族全体が安心安全に生活できるようサポートします。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・1回/週の定例会議や個々に支援内容の共有や相談を行い、支援の質保持に努めます。 ・資格取得のための費用補助や研修の機会の情報共有を行い、専門性を高める機会を提供します。 ・働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、支援員のストレス軽減を図ります。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・1回/月の小集団活動（土曜日、3時間程度）の中で、季節に触れる体験やルールのある活動体験、ライフスキルトレーニング活動等を行います。 ・公民館祭りの参加：地域の公民館の活動に参加し、飲食店ブースの出店を行い、調理や接客、お金の管理を役割分担して体験します。 							